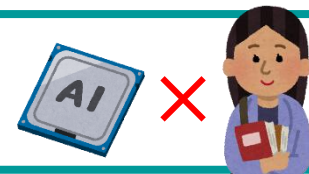


小学校

AIスピーキングアプリ×ALT

～コミュニケーション力の育成に向けた効果的な活用について～



AIスピーキングアプリで自分の考えを磨き、思考を深める



ALTと話すことでコミュニケーションへの理解を深め、豊かな人間関係を築く

◆単語クイズ…イラストや音声を手がかりに、回答を選択したり、音声入力をしてクイズをとおり、語彙への慣れ親しみを図る。



★受容語彙が増え、友達とのやり取りにおいて、相手の断っていること理解できるようになり、主体的に取り組む一助に。

◆文の復唱ゲーム…音声を聞いて、文の発音や強勢、抑揚などを真似することで、モンスタースタイルを倒していくゲーム。単元で使用する基本的な文への慣れ親しみを図る。



★自分の聞きたい部分を何度も聞くことで、言いよどむことなく話せるようになり、個に応じたスピードで取り組む一助に。

◆会話ゲーム…基本の文を会話形式でAIと話すことで、基本的なやり取りに繰り返し挑戦するゲーム。立場を変えながら、英語表現への慣れ親しみを図る。



★尋ね方や答え方の双方の立場において、理解を深めることで、自信をもって実際の会話につなげる一助に。

◆AI添削…英語で話したことを日本語に翻訳するだけでなく、日本語で話したことをどのような英語表現にするとよいかヒントが提案される機能。



★不足している英語表現や、よりくわしく伝えるための英語表現についての思考を深める一助に。



JTEとALTとのやり取りから、「私も話してみたい」という児童の気持ちを喚起する。単元をとおり、必要に応じて、AIスピーキングアプリを使えることを子どもに提示する。

アプリを使用した個別最適な学びと、友達とのやり取りにおける協働的な学びを経て、児童がALTとの会話に挑戦する場を設定する。



ALTが話している内容が聞き取れた。

そのような考え方もあるんだ。ALTと話したら、意外なことが分かった。

ALTに伝えられた！でも、質問に答えられなかったから、もっと話す内容をくわしくしたいな。

ALTの質問にも調べたことを生かして答えられたよ。

簡単な表現で言い換えたら、「とても分かりやすいね」と、フィードバックをもらえて、うれしいな。

自信をもってやり取りができた。ALTとも友達とも楽しく話せた。



再び、アプリの利用と友達とのやり取りを経て、児童が伝えたいことを明確にした上でALTとの会話に再挑戦する場を設定する。

◆相手の言葉や意図の受け止め方

→場面や状況に応じた表現、分かりやすさを追究した自分の言葉の見直し

◆相手や相手の文化への配慮

◆相手意識の向上→言語面、非言語面における反応や表現

楽しく学びながら英語を覚えられた。

言いよどむことなく自信をもって話せるようになった。

覚えた英語表現を会話で使えるようになった。

ALTが話す速さに、ついていけるようになった。

ALTについて、今まで知らなかったことが分かった。

ALTの質問に、その場で答えられるようになった。

友達ともALTとも楽しく話せるようになった。

コミュニケーション力の育成のために、ICT技術とALTを効果的に往還



小学校

AIスピーキングアプリ×ALT

～単元の学習過程における子どもたちの不足感や困りを意識した活用例～

NEW HORIZON Elementary6 Unit5 Where is it from?の実践より

時	学習活動	AIスピーキングアプリの活用
1	単元のゴールを知る。 学習の進め方を考える。	単語アプリ
2 ALT	服や持ち物の生産国を伝え合う。 オリジナルカードを介绍し合う。	単語アプリ 文の復唱アプリ
3	調べてきた物の生産国とその地域を伝え合う。 紹介する物を選び、発表内容を考える。	文の復唱アプリ 会話アプリ
4 ALT	基本の文を用いて伝え合う。 紹介内容を見直し、伝えたいことを再考する。	会話アプリ AI添削
5	伝えたい内容をくわしく伝え合う。	会話アプリ AI添削
6 ALT	世界とのつながりや生産国のよさを伝え合うために、 内容や表現をさらに見直し、伝え合う。	AI添削
7 ALT	Over the Horizon 単元での成長を共有する。	
8	友達やALTと紹介し合う。 簡単な感想を伝え合う。	

各時間、個々の不足感や困りに応じて、子どもがアプリを選択できるように配慮



【子どもの思考】

- ・単語や文の意味や言い方を知りたい
- ・自然な速さで話せるようになりたい
- ・友達と伝え合いたい
- ・ALTと伝え合いたい

- ・友達が話していることを理解したい
- ・ALTの話している速さでも聞き取れるようにしたい
- ・ALTの質問に答えられるようになりたい

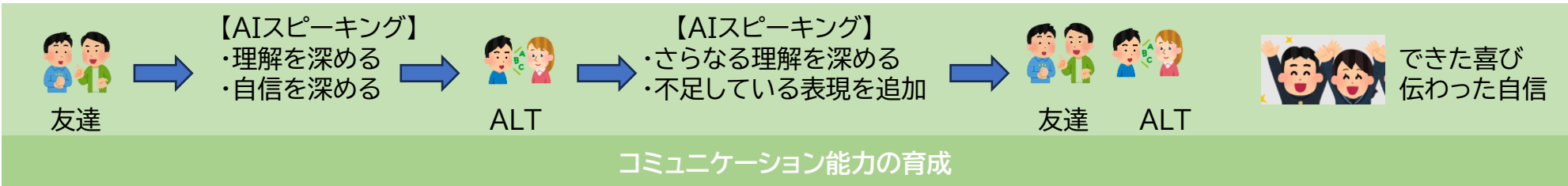
【指導のポイント】

AIスピーキングアプリをとoshi、できるようになったことをALTと試す機会を設定する



ALTから子どもへの質問やフィードバック

- 子どもが伝えられた喜びを感じ、自信を深める機会にする
- 内容をくわしくするために、さらに必要な英語表現への気付きが生まれる
- 子どもが伝える内容を再考したい気持ちにつなげる



中学校

ALT × オンラインエデュケーション（オンライン英会話）

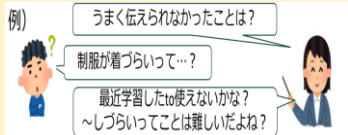
～様々な話題について、表現したり伝え合ったりすることができる力を養うための効果的な活用について～

自校のALTとSmall Talk

日頃の授業の中で、
「話すこと(やり取り)」を
積み重ねる

【実践例】

- ①JTEとALTでSmall Talkのデモンストレーション
- ②生徒同士のやり取り (Small Talk)1回目
- ③JTE、ALTによる中間指導 (内容面、言語面)



- ④生徒同士のやり取り (Small Talk)2回目
- ⑤ JTE、ALTによる中間指導 (内容面、言語面)
- ⑥級友とやり取り (Small Talk)3回目
- ⑦学級全体で共有 (ALTと代表生徒によるやり取り)

初対面の外国人とオンラインエデュケーション(OE)

- ・ 形式:双方向オンラインシステムを使用した英会話レッスン
- ・ 先生:フィリピン現地にいる、英語しか話さない先生
- ・ 時間:1レッスン25分
- ・ 人数:生徒4名程度に対し先生1名
- ・ 内容:レッスンプランから1つ選択
- ・ レッスンプラン例、レッスン展開例



学年	【レッスンプラン例】
1 学年	好きな〇〇について、自分の日常について、私のヒーローについて、中学1年を振り返って など
2 学年	自分の週末について、休日の予定について、クイズの時間 など
3 学年	海外旅行について、世界遺産について、ボランティア活動について、中学校の思い出について など

【レッスン展開例】

- ・ 自己紹介
- ・ Warm-up 例)英語しりとりなど
- ・ Topic Talk 例)秋 学校行事
- ・ Topic Conversation
- ・ 例)日本のマナーアメリカと日本の学校の違い
- ①文法の確認・内容確認の質問
- ②自分の意見を伝える
- ・ Feedback Time

自校のALTによる事後指導

オンラインエデュケーション後
の事後指導

【事後指導例】

(普段の授業よりも、
OEでは、文で発話で
きていないな...)
**Full sentenceで
伝えてみて！**

(相手の質問に答え
てばかり...)
**次回のOEや、
Small Talkでは、
自分から質問する
ことにも挑戦してみ
て！**



自校のALT

Small Talkの
成果をOEで発揮
することができた。

OEは、緊張したけれど、
初対面の外国人に英語が
伝わる楽しさを実感した。

OEで、初対面の外国
人にうまく伝えられな
かった。悔しい。

次のOEに向けて、Small
Talkで、もっと即興的にやり
取りできるように練習したい。

外国人に伝えるため、
自国の歴史・文化を
もっと学びたい！

より多くの
外国人と英語で
話してみたい！

言語活動で培った力を即興で話す力へ

高等学校

ディベート×ALTによるオンライン交流 (ジャッジ)

～幅広い話題について、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養うための効果的な活用について～

Small Talk 全ての言語活動の土台

- ・ペアで日常的・社会的な会話
- ・題材導入時の背景知識の活性化の場

Discussion 3～4人で合意形成を図る場

- ・日常的な話題～社会的な話題へ
- ・題材を理解した後の発展的な活動

1on1 Debate 評価(ジャッジ)を意識した「個人間」論争

- ・主に社会的な話題
- ・題材を理解した後の発展的な活動

3on3 Debate 評価(ジャッジ)を意識した「グループ間」論争

- 【導入】 チームごとでアイデア出し(10分)
・各チーム3人。ディベートテーマについて、賛否の両方を考える。

【展開】 ディベートの実施(35分)

- ① ジャッジに入るALTと自己紹介(2分)
 - ② 賛成派1の立案(1分) → 反対派1の立案(1分)
 - ③ シンキング・タイム(1分)
 - ④ ②を踏まえ賛成派2の反論(1分) → 反対派2の反論(1分)
 - ⑤ シンキング・タイム(1分)
 - ⑥ ②・④を踏まえ賛成派2の総括(1分) → 反対派2の総括(1分)
 - ⑦ ジャッジより判定、講評(2分)
- ★①～⑦を1セットとし、次のセットでは役割と相手を変えて行う。



- 【総括】 個々人で振り返り(5分)
・論理的に自らの考えを伝えることができたか。
・相手の意見を踏まえて、説得力のある反論を言えたか。

自校のALTによる指導

- ・JTEとALTで、Small Talk、Discussion、Debateのデモンストレーションを行う。
- ・個別に子どもとALTがSmall Talkを行う。
- ・Small Talk、DiscussionやDebateの中間指導において、活動の目標を明確にし、目的に応じて生徒の気づきを促す指導をする。
(例) 分かりやすく伝える、詳細情報の付加、語順の精査等の視点を与える関わり等。

JET ALTによるジャッジの効果

- 他校所属のJET ALT派遣を利用し、オンラインで参加
- JET ALTは、ジャッジとして参加
- 賛成派 反対派
- ・JudgeがALTだからこそ英語を話す必然性
 - ・Judgeに伝わらないもどかしさ・失敗を乗り越えるレジリエンスや、伝わることによる自己肯定感等の高まり
 - ・Judgeのコメントの仕方も同時に学習
 - ・人間同士のリアルなコミュニケーションへの関心・意欲を促すことが可能

論理を構成したり、展開を工夫したりする必然性を生むために、初めて会うALTをジャッジとして活用